



data



data



data

## 第2回

# 北極域研究における 「データ」をめぐる対話

— 政治学、法学の視点 —

ArCSIII  
課題間  
研究会

礪波 亜希（筑波大学）

データは新たな資源なのか：AI時代の  
市場・インフラ・北極域

小林 友彦（小樽商科大学）

北極域でのデータの収集や国際的利  
用への国家的規制についての国際法  
上の論点提起

2026 12/7 月 14:30-16:30

[会場] 一橋講堂 会議室 202・203

- ArCSIIIプロジェクト関係者対象
- フォームよりお申込みください→

[主催] ArCSIII 先住民課題・ガバナンス課題



近年、オープンサイエンスの推進が奨励されるなか、データの公開およびその広範な利活用がもたらす社会的意義が強く認識されている。本研究会の目的は、北極域研究においてなにが「データ」として規定されるのか、そしてその共有がいかなる社会的影響をもたらすのかについて、異分野の研究者間で知見を共有し、学際的な討議を行うことである。

具体的には、データの質的多様性を再確認するとともに、その取得過程における方法論的および倫理的な諸課題を考察する。さらに、データが社会において広く活用される可能性について、批判的検討を交えつつ探求していく。

北極域研究は本質的に学際的なアプローチを特徴とする。第2回となる本セミナーでは、法学と政治学からの問題提起をもとに議論を展開する。これにより、当該分野に伏在する問題群の広がりを見えやすく・確認するとともに、今後の共同研究に向けて検討すべき領域を同定することを目指す。

---

#### [タイムテーブル]

##### 14:30-14:35 趣旨説明

- 高倉 浩樹（東北大学）

##### 14:35-15:35 話題提供

- 礪波 亜希（筑波大学）  
データは新たな資源なのか：AI時代の市場・インフラ・北極域
- 小林 友彦（小樽商科大学）  
北極域でのデータの収集や国際的利用への国家的規制についての国際法上の論点提起：データ越境規制禁止ルール、BBNJ協定、先住民データ主権、経済安全保障

##### 15:35-16:30 ディスカッション

---

#### [お問合せ]

東北大学 東北アジア研究センター 石井花織  
kaori.Ishii.c8@tohoku.ac.jp